

リーダーシップの あり方について

リーダーシップについては、預かるチームの大小や段階で、様々な考え方、やり方がありますが、ここでは私のこれまでの会社生活の中で、様々なリーダーの元で働いたり、自分自身がリーダーとして歩いてきて、上手くいった、手ごたえのあったリーダーシップスタイルを紹介します。

その1 良いことを言うよりも、良い行動をとる

様々なことで理想論を言うよりも、立ち居振る舞い、行動・態度で示す。一番は誰にでも明るい挨拶、ありがとうの感謝の言葉を発する。整理・整頓・清掃・清潔・躰の5S活動は自ら行い示す。時間(出勤・朝礼・会議等)を守る。自分の判断が失敗、悪かったことは素直に謝る。ポジティブな行動で良い空気感をつくる。

その2 オープンマインドで接する

嫌なこと・まずいことがあると、つい隠したくなるもの、でも一人で悩まずに、部下に包み隠さずに明かして相談すると、気の毒がって乗り切る方策を真剣に考えてくれます。オープン経営・オープン運営でいく。



その3 部下に役立つことを行う

自分がこれまでに学んできた上司や先輩の教えを、折りにつけ話をする。場合によっては定期的にミニ研修の時間を作って教える。

新聞雑誌等で見たと役立つ情報を切り抜き、部下に提供する。情報も共有でき、スキルアップが図れ、一体感が出てくる。

その4 声掛け・対話を重視する

部下と上司、1:1で対話する機会を多く作る。仕事の目標やプロセス、仕事のスキルアップ等については時間をかけて定期的に、注意したいことやアドバイスが必要な時は、1分でも3分でも声をかけて、呼び止めて話をする。

そうすることで、悩みの解消やモチベーションアップに繋がる。

その5 部下を引き上げる努力をする

目指す役職について具体的な目標をもってもらう。何年後に目指す役職につくか、その為にどんなことが必要か、補うところはどこか、強化することは何か、アドバイスと目標設定を行う。例えば業界セミナー年3回、スキルアップ研修年3回受講、専門分野の本、年に3冊読破、ワンランク上の人と年5名と話をする等々、具体的に背中押しをする。意識をさせ継続、実行していくと間違いなく上の段階に進んでいくものです。

